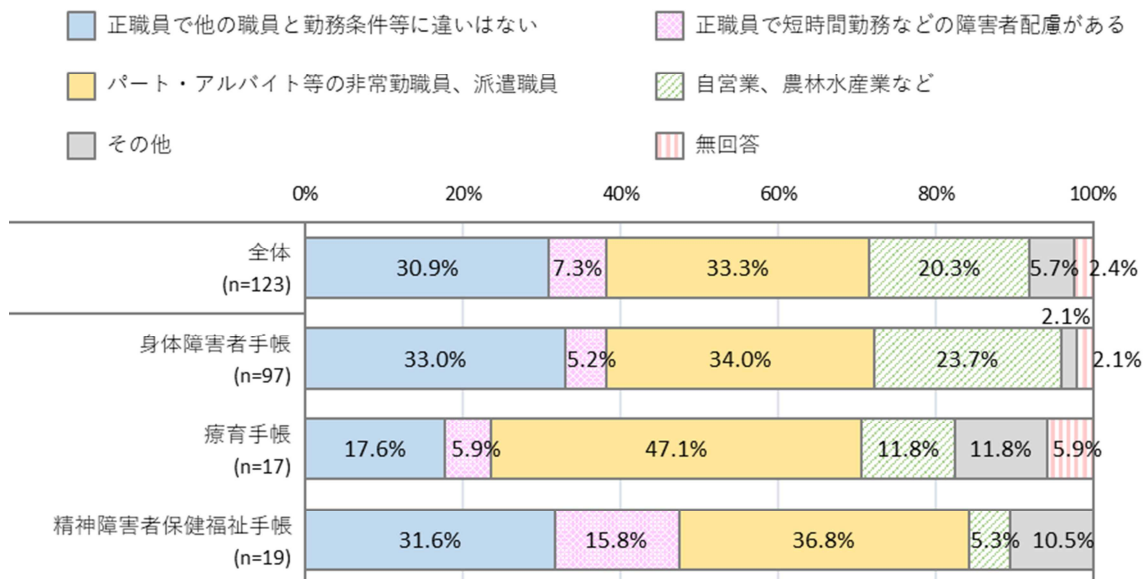


⑥ 就労について

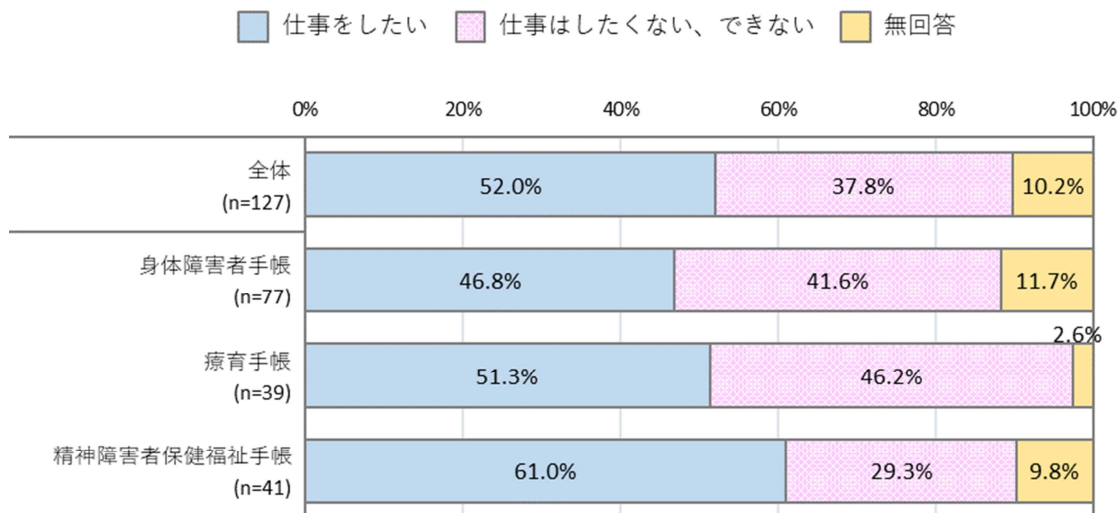
ア) 就労状況

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が33.3%と最も高く、次いで、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が30.9%、「自営業、農林水産業など」が20.3%となっています。



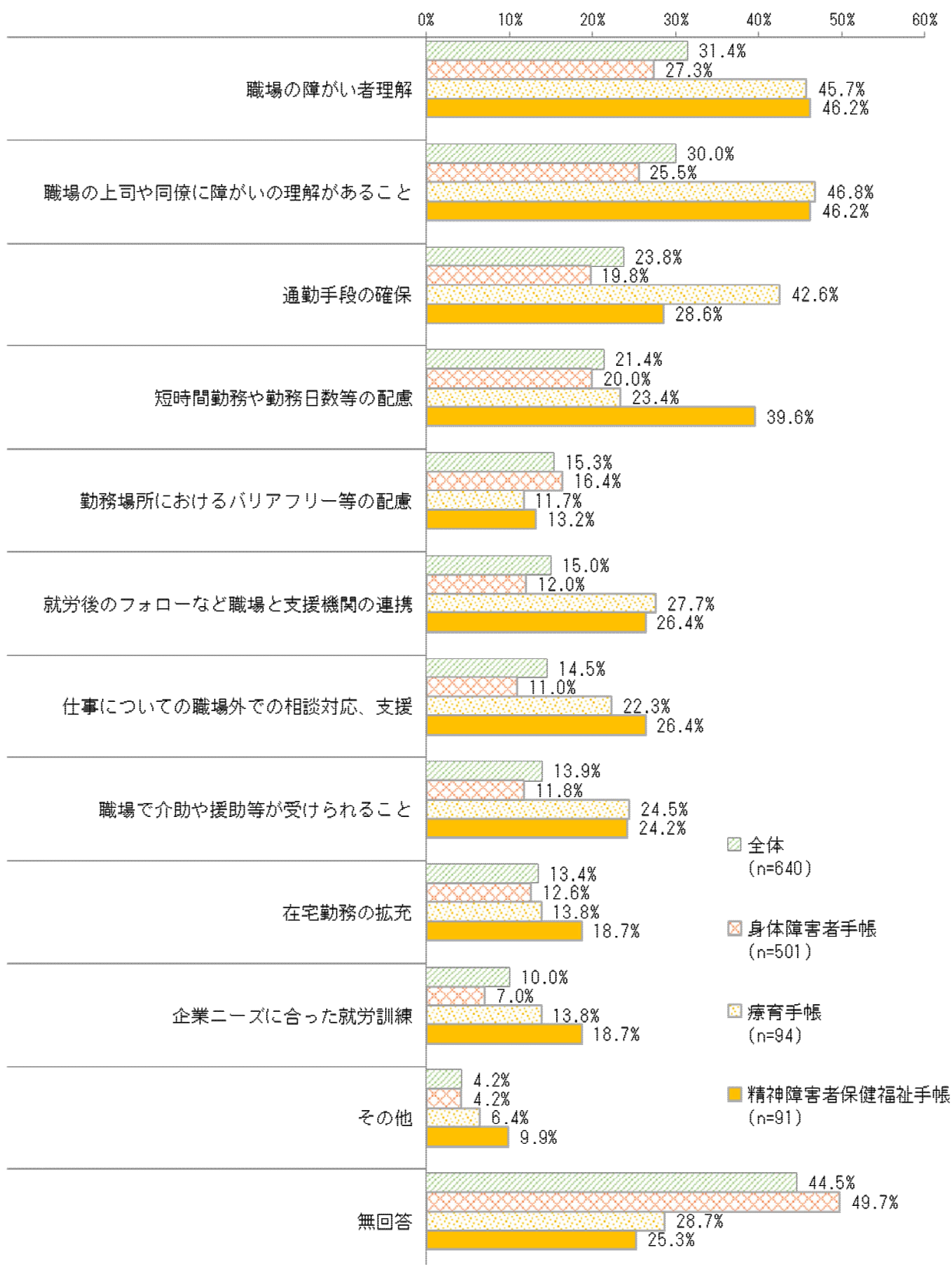
イ) 今後、収入を得るための仕事の希望

「仕事をしたい」が52.0%、「仕事はしたくない、できない」が37.8%となっています。



ウ) 障がい者の就労支援として必要なこと

「職場の障がい者理解」が31.4%と最も高く、次いで、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が30.0%、「通動手段の確保」が23.8%となっています。

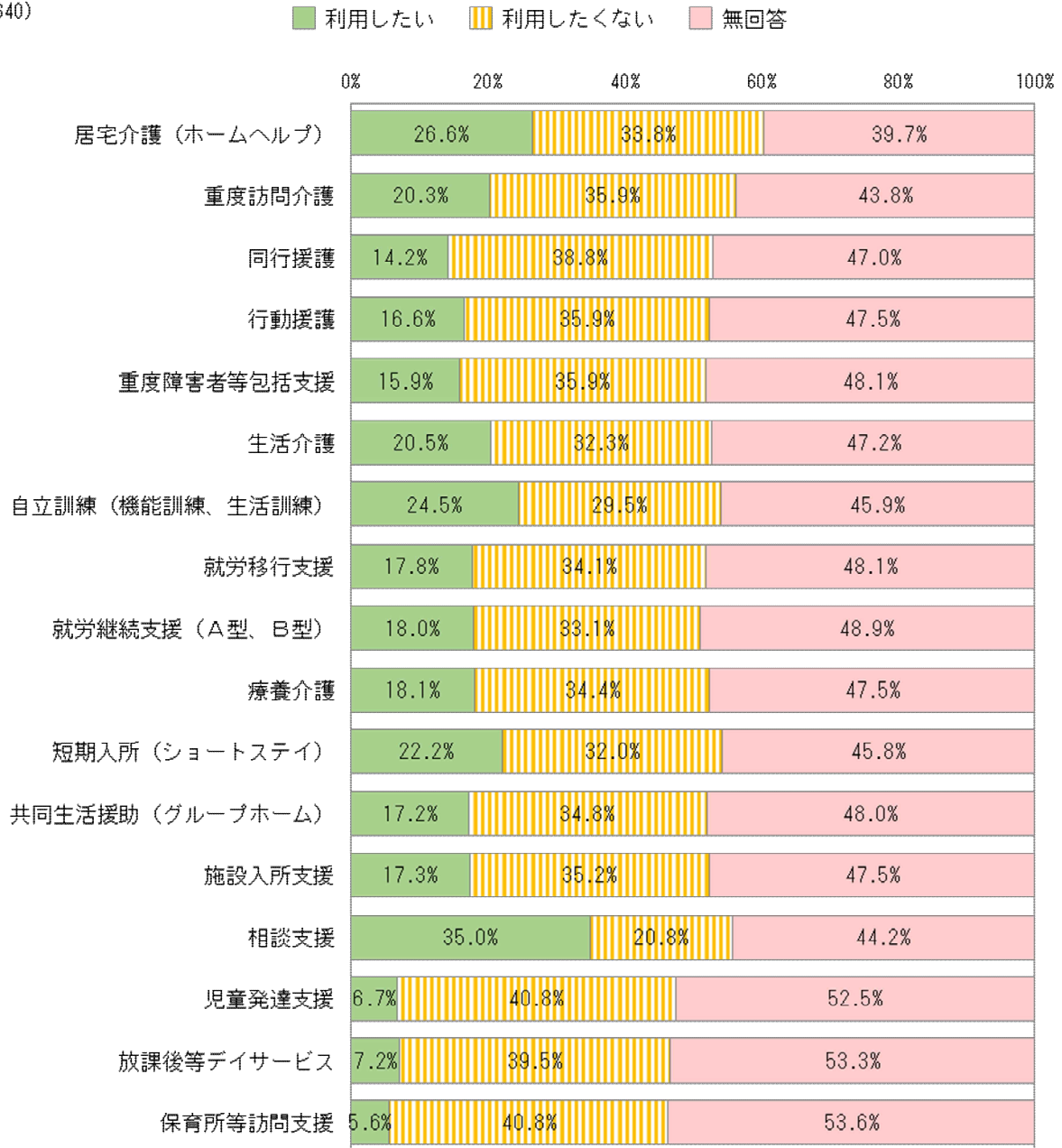


⑦ 障害福祉サービス等の利用について

ア) 今後利用したい障害福祉サービス

今後の福祉サービスの利用意向で利用したいサービスとして、「相談支援」35.0%、「居宅介護（ホームヘルプ）」26.6%、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」24.5%などとなっています。

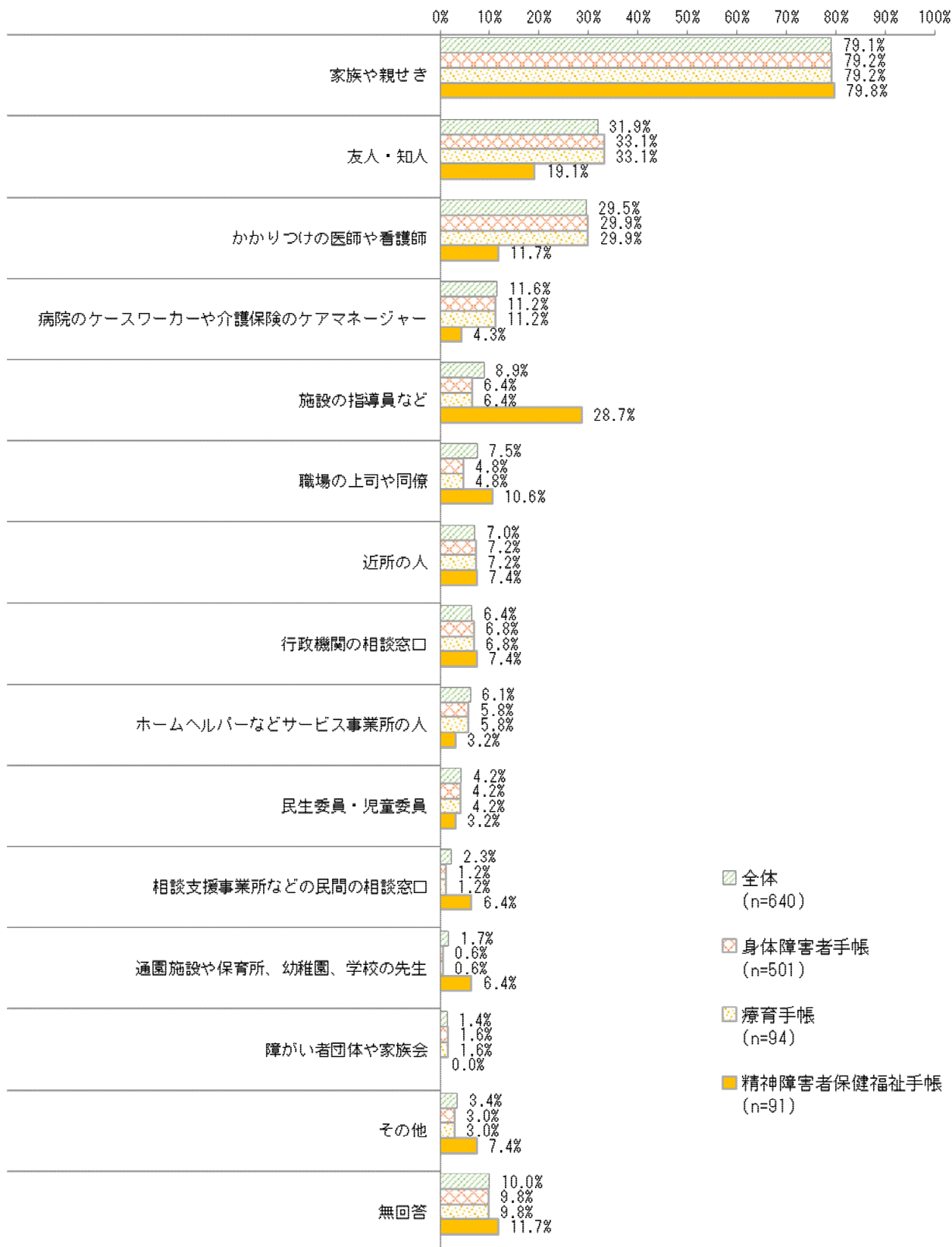
(n=640)



⑧ 相談相手・情報取得について

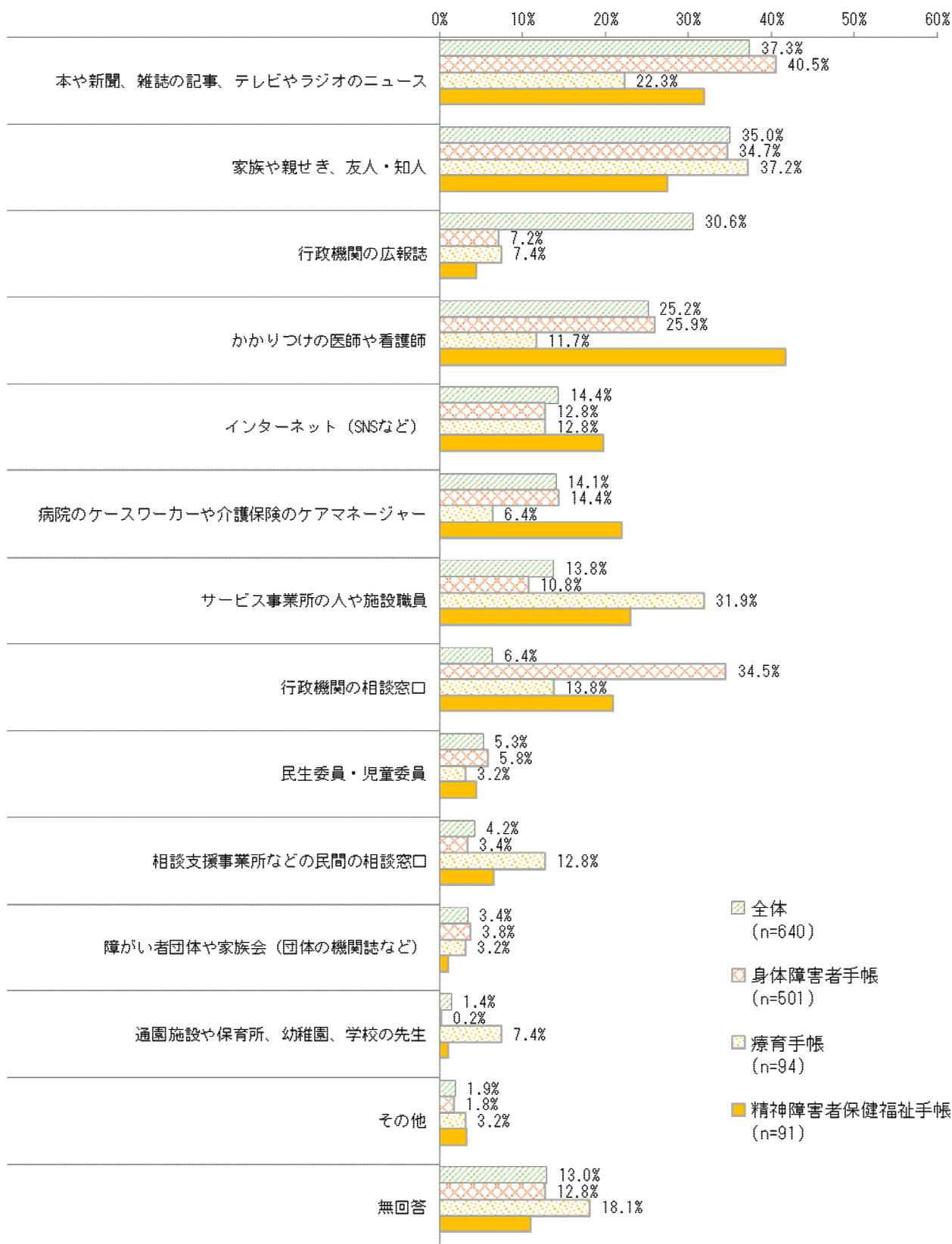
ア) 悩みや困ったことの相談先

「家族や親せき」が79.1%と最も高く、次いで、「友人・知人」が31.9%、「かかりつけ医師や看護師」が29.5%となっています。



イ) 障がいや福祉サービスなどに関する情報の取得方法

「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が37.3%と最も高く、次いで、「家族や親せき、友人・知人」が35.0%、「行政機関の広報誌」が30.6%となっています。

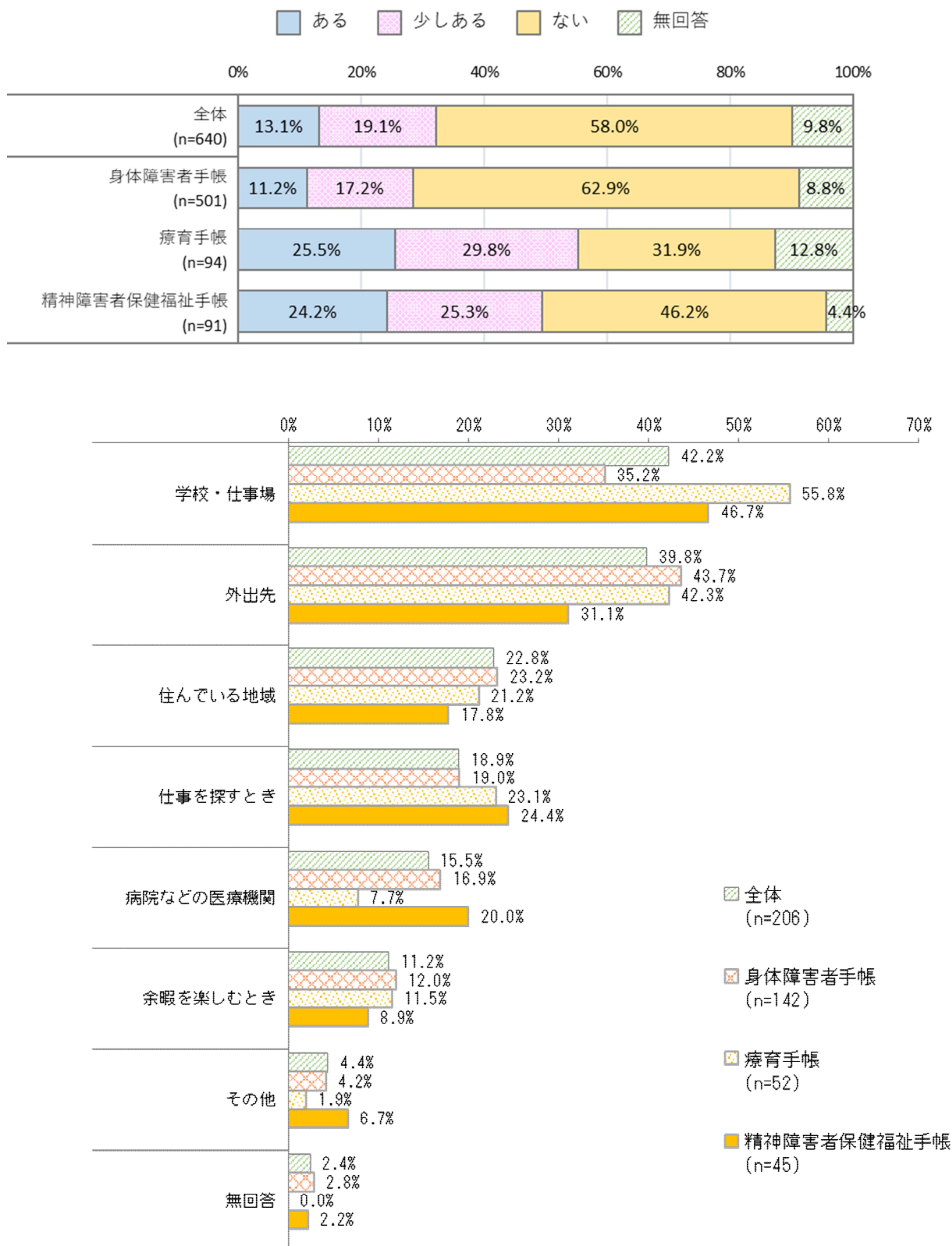


⑨ 権利擁護について

ア) 障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験

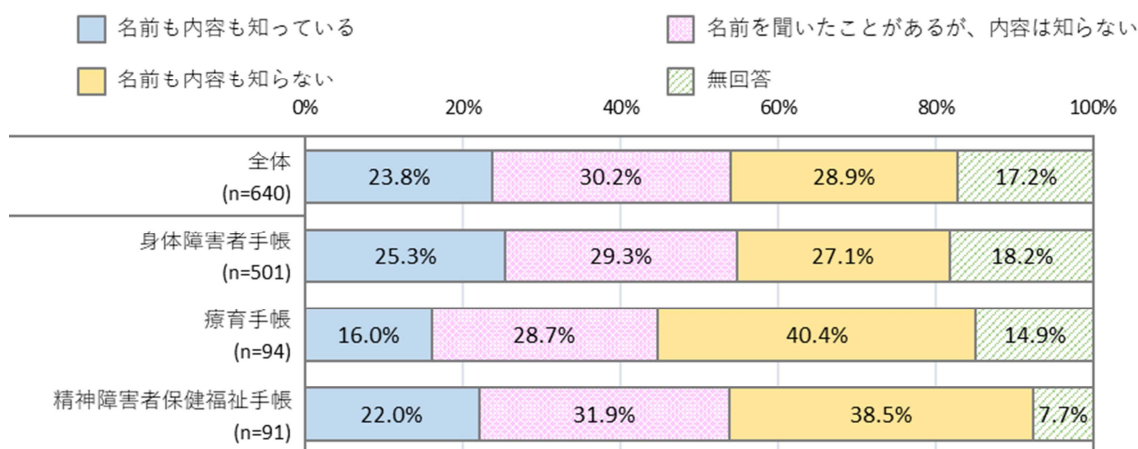
「ある」（「ある」と「少しある」の合計）が32.2%となっています。

また、差別や嫌な思いをした場所については、「学校・仕事場」が42.2%と最も高く、次いで、「外出先」が39.8%、「住んでいる地域」が22.8%となっています。



イ) 成年後見制度の認知度

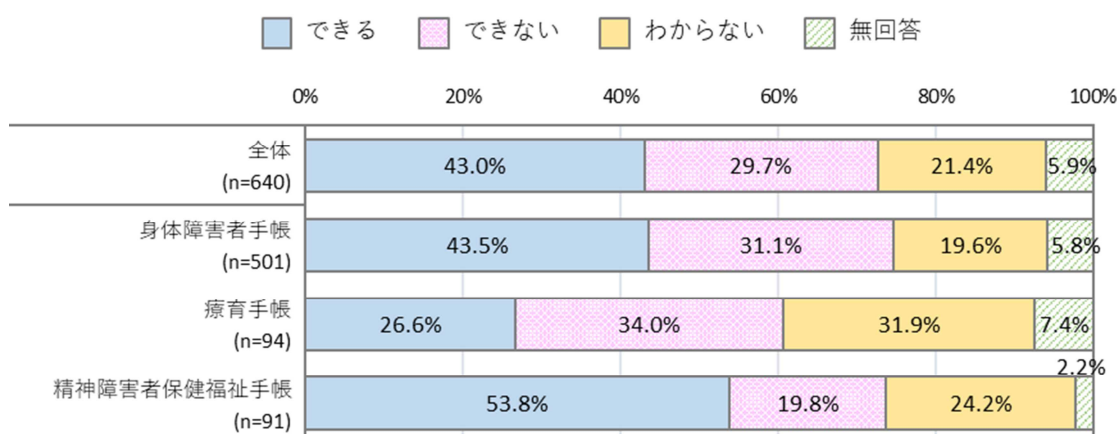
「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が30.2%と最も高く、次いで、「名前も内容も知らない」が28.9%、「名前も内容も知っている」が23.8%となっています。



⑩ 災害時の避難等について

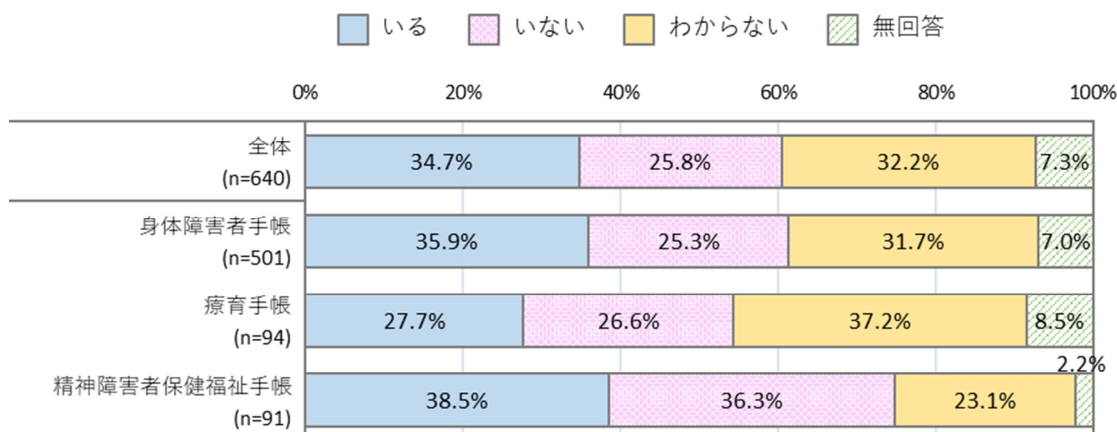
ア) 火事や地震等の災害時に一人で避難できるか

「できる」が43.0%、「できない」が29.7%、「わからない」が21.4%となっています。



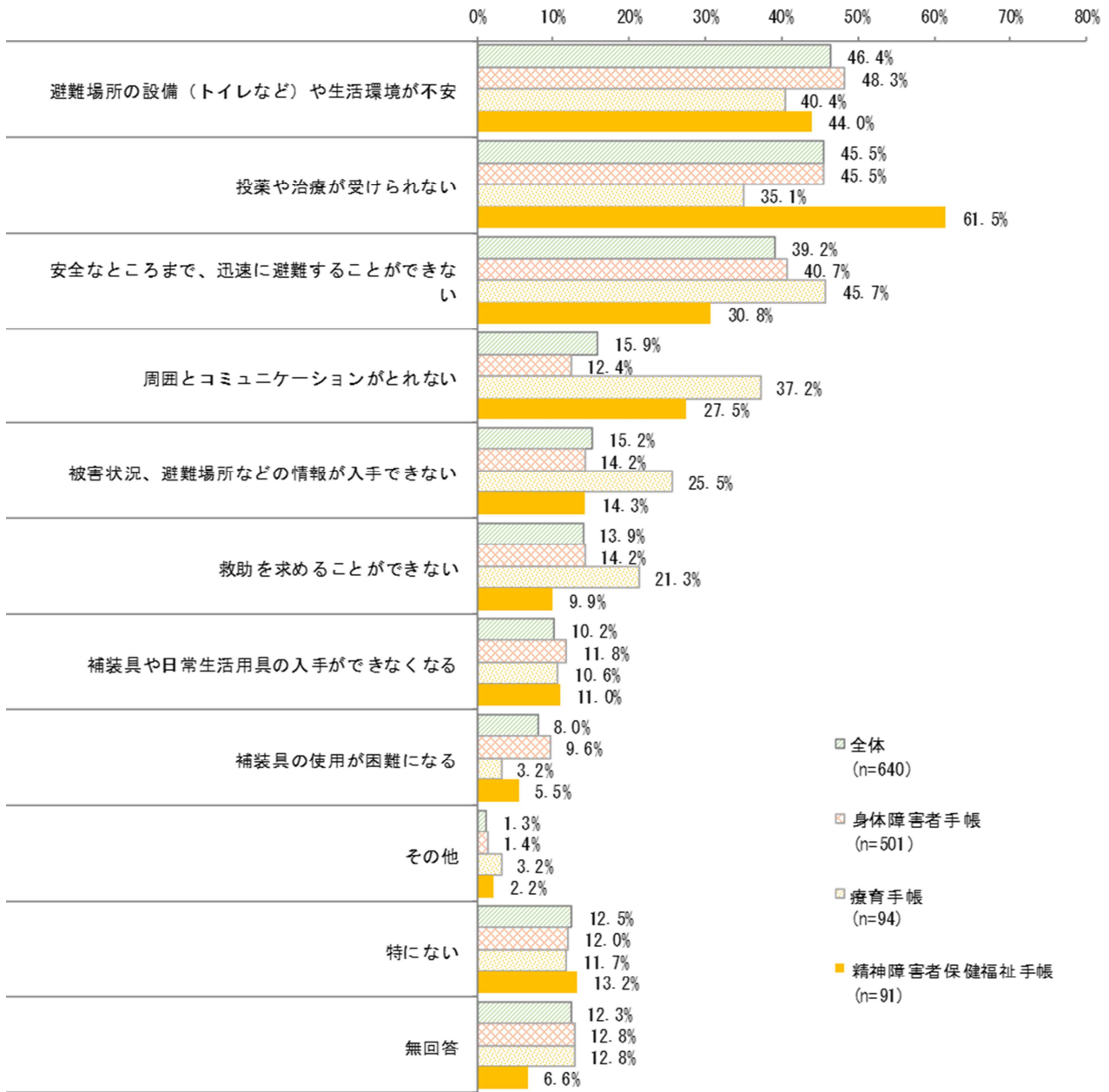
イ) 災害時において近所に助けてくれる人がいるか

「いる」が34.7%、「いない」が25.8%、「わからない」が32.2%となっています。



ウ) 災害時に困ること

「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が46.4%と最も高く、次いで、「投薬や治療が受けられない」が45.5%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が39.2%となっています。



第3節 アンケート調査結果まとめ

- 日常生活の状況については、「ひとりでできる」が全ての項目で最も高くなっていますが、「外出」、「お金の管理」については、「ひとりでできる」が6割となっており、介助を必要としない障がい者が多い状況です。
- 今後3年以内の暮らしの希望については、「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」55.2%、「父母・祖父母・兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」17.5%、「一人で暮らしたい」13.3%となっています。
- 地域で生活するために必要だと思う支援については、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」45.2%、「障がい者に適した住居の確保」35.9%、「必要なサービスが適切に利用できること」34.4%となっています。
- 外出頻度については、「1週間に数回外出する」42.8%、「毎日外出する」38.0%、「めったに外出しない」9.4%となっています。
- 外出する時に困ることについては、「買い物に行く」70.7%、「医療機関への受診」62.0%、「通勤・通学・通所」29.3%となっています。
- 今後、収入を得るための仕事の希望については、「仕事をしたい」52.0%、「仕事はしたくない、できない」37.8%となっています。
- 障がい者の就労支援として必要なことについては、「職場の障がい者理解」31.4%、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」30.0%、「通勤手段の確保」23.8%となっています。
- 今後利用したい障害福祉サービスについては、「相談支援」35.0%、「居宅介護（ホームヘルプ）」26.6%、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」24.5%などが高くなっています。
- 悩みや困ったことの相談先については、「家族や親せき」79.1%、「友人・知人」31.9%、「かかりつけ医師や看護師」29.5%となっています。
- 障がいや福祉サービスなどに関する情報の取得方法については、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」37.3%、「家族や親せき、友人・知人」35.0%、「行政機関の広報誌」30.6%となっています。
- 成年後見制度の認知度については、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」30.2%、「名前も内容も知らない」28.9%、「名前も内容も知っている」23.8%となっています。
- 災害時の一人での避難可否については、「できる」43.0%、「できない」29.7%、「わからない」21.4%となっています。
- 災害時において近所に助けてくれる人の有無については、「いる」34.7%、「いない」25.8%、「わからない」32.2%となっています。
- 災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」46.4%、「投薬や治療が受けられない」45.5%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」39.2%となっています。